

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 江戸川台教室

保護者等数(児童数) 27(26) 回収数 25 割合 96%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5	0	2	庭もあり十分なスペースがあります。お便りで子供たちの様子を見て楽しそうに活動しているため、少し狭いかな…と思います。	庭での外遊びがある分、走り回る活動もあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭での活動の時間は、特に職員配置を気を付ける等、気を付けていきたいと思っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	0	6	利用人数に対して必要な職員を配置していること、専門性も適切だと思います。実際に子供の利用日に見ていないので。	モニタリング時や、面談時に、教室内の様子を見学いただける機会を作りたいと思います。定期的な職員の研修会や勉強会等の開催を続け、職員の教育に力を入れていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	1	0	4	何がどこに置いてあるのかはつきりしていること、情報伝達も配慮されていると思います。	利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。わかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等も、工夫していきたいと思っています。また、利用児の導線を考え、ぶつかけやすい場所や、怪我をしやすいものがないか等、日々安全を考えた環境作りをしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	0	0	2	いつも清潔できれいに整理整頓されています。清掃が行き届いている感じで活動に合わせた空間となっていると思います。	毎日の清掃、週ごとの清掃等、チェックリストを用いて、抜けがないよう、清掃をしています。また、コロナやインフルエンザ流行期には、毎日使ったおもちゃや絵本等の消毒作業もして
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22	2	0	1	必要なモニタリングをきちんと行った上で作成されていると思います。	児童発達支援計画を基に、支援計画を作成しています。また、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや、朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	0	1	ガイドラインに基づき、必要な支援内容を先生方で話し合いを行いプログラムを決めている印象を受けました。	ガイドラインを基に、支援計画を作成しています。また、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや、朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	1	モニタリングを元に、療育の中で必要な支援を行っていると感じております。	個別支援計画を職員全員が理解した上で療育ができるよう、各自支援計画の確認をすることはもちろん、朝礼、昼礼での共有をしていき
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	1	0	1	季節ごとに様々なプログラムがあり、子どもは楽しんで参加しています。毎月の活動内容を見ている限り、固定化しないよう工夫されていると思います。日替わりで工夫されていると思います。	プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫をしています。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	4	10	障害のない子どもと活動する機会はあった方がいいです。様々な子どもたちがいるので無理に交流は開く必要はないかと思えます。幼稚園と併用で通っているので気にしていません。	以前から、他の幼稚園等と関わる機会を計画することができていません。近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の流行が続いている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0	入所の時に丁寧に説明されました。さくら江戸川台教室の見学、説明会で詳細な説明を受けたため良かったです。	契約時に児発管が書面をお渡ししつつ、説明をさせていただきます。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明します。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	0	0	0	モニタリングで先生からその子に必要な発達支援計画を聞き、今後のことに向けて話し合いができています。	保護者様にわかりやすいよう、支援計画を示しながら説明をさせていただきます。計画作成時だけでなく、必要があれば、都度ご説明させていただきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	13	3	1	7	コロナでペアレントトレーニング不可能な代わりに、電話でしっかり質疑応答を行ってくださるのでも助かります。	悩み等があれば、電話や面談でご相談に応じたいです。コロナ前に保護者会で、食育や、子育ての勉強会等を開催したこともあったので、コロナが落ち着いたら計画をしていきたい
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	3	0	0	何か困ったことがあったらいつでも相談できます。先生同士で子供の状況を共有し、保護者に伝えられていると思います。	送迎時は時間を取ってのご説明ができればいいため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、モニタリング時に限らず、ご要望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	3	1	1	定期的に面談をしています。モニタリング以外で必要に応じて話を聞いてくださることが有難いです。	半年に一度のモニタリング以外でも、心配事があつた場合等、都度お電話や面談をさせていただきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	9	7	他の保護者と交流する機会があればいいと思います。父母会、保護者会を実施していないということですがスペース上不可能と感じました。	コロナ前保護者会を行って、好評でしたが、コロナ禍でできなくなってしまいました。また近隣のコロナやインフルエンザ等の流行状況が落ち着き次第、計画をしたいと思っています。全員が集まれる広いスペースはないため、数回に分け行うなど、計画をしたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1	0	2	保護者からの質疑応答には、迅速かつ適切な対応がされていると思います。	送迎時に保護者様からご連絡をいただいた事項等、職員間の連絡がうまくいかないことがあるため、連絡票に記載する習慣をつけ、職員間での情報共有ができるよう、気を付けていき
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2	0	0	不明点があれば、いつでもお電話をいただき、ご説明させていただきます。	「こぼんはうすくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介していきます。今後も、様子がわかるような手紙を発行していきたいと思っています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	0	3	毎月のお便りで子供たちの様子を明記されているので、情報を発信されていると思います。	「こぼんはうすくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介していきます。今後も、様子がわかるような手紙を発行していきたいと思っています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	3	2	4	守秘義務を大切にされていると思います。	個人情報取り扱いについては、職員のミーティング時の研修等で常に気を付けるよう、指導していきます。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	0	1	2	入所の時に説明がありました。その後訓練の様子やマニュアルを手紙で確認しました。定期的避難訓練がきちんと行われていると思います。	避難訓練の様子も、こぼん通信等でご紹介していきたいと思っています。また、遠足で防災センターに行ったこともあり、また計画したいと思っています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	2	定期的避難訓練をしています。上記と同じ意見であること。詳細な手紙も頂いているので助かっています。	定期的避難訓練をプログラムに入れています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	20	3	0	2	ご機嫌で通う日もあれば、泣いてしまう日もありますが、まだこれから慣れて楽しくなっていくと思います。「むずかしいからいやだ」と話す時があります。(おはしの練習の時)いつも楽しく通っています。大好きな場所です。毎月のお便りの活動内容を親が知ることにより、子どもに伝えるので楽しみにしている様子です。	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがないよう、バラバラの良いプログラムを組めるよう、気を付けていきます。また、個々の発達に合わせた療育ができるよう、利用児の発達状況を見極め、無理のない有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思っています。
	23 事業所の支援に満足しているか	22	3	0	0	いつも丁寧な支援してくださり、感謝しています。保護者の話もよく聞いていただけるので、満足しております。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思っています。

458 39 18 58

80%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 11 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 江戸川台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	広めに作っている。	体の大きい子が多い時など活動を工夫し、狭く感じないようにする。
	2 職員の配置数は適切であるか	14	0	多く配置している。	体調不良時などの不測の事態に対応できるよう連絡体制を整える。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	0	絵の表示。	表示が取れかかっていたりなど整備をする。危険な所がないか日々点検する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	チェックリストを用いた清掃、消毒。	忙しいと細かいところの清掃が不十分になるため、シフトの調整などを行う。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	0	朝礼、昼礼時に毎日確認をし、支援終了後は終礼で確認をする。	途中からのシフトで参加できなかった職員にも伝達ができるよう、振り返りノートに記録をし、共有する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	毎年1回アンケートをお願いしている。	アンケート結果を職員で共有し、話し合い、改善につなげていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	0	こぼんはうすさくらホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	0	外部の評価が出来ていない。	第三者の評価については今後の課題として検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14	0	定期的なミーティング時の研修会を開催している。	一度に全員集まることは難しいので、より多くの職員が参加できるように、複数回に分けて開催をする。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0	本部からのツールを利用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	計画が職員に共有できるように計画ができれば連絡ノートで共有。	計画の入ったファイルを出動時に確認する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	14	0	行事等職員が分担して相談しつつ計画をする。	有益な活動になるよう児発管中心に相談しながら立案する。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	曜日ごとに偏らないように工夫する。	各曜日の人が各項目バランスよく入るよう立案する。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	朝礼、昼礼を実施している。	早帰りの日、1日預かりの日など、途中から入る職員がいる場合は全員で集まることが難しい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	0	毎日終礼を行い、共有している。	途中で上がる職員に伝わるよう、振り返りノートを活用。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	振り返りノートを活用している。	ノートを見ていない職員にはきちんと見るように伝え、伝わらないことを防ぐ。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0	6か月に1回実施している。	必要があれば期間中にも計画の見直しを都度していく。	
関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	0	児発管もしくは管理者が参加している。	会議の記録を取り、職員間で共有できるよう、保管、共有している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	0	児発管もしくは管理者が参加している。	必要があれば他機関を訪問して会議を行う。会議の内容は、記録を取り、職員間で共有できるように、保管をしている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	対象外	対象外	対象外	対象外
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	対象外	対象外	対象外	対象外
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	児発管が行っている。	会議の記録を取り、職員間で共有できるよう、保管、共有している。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	児発管が行っている。	会議の記録を取り、職員間で共有できるよう、保管、共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	0	こまめに連携している。	連携はしているが、他機関の研修への参加はしていない。機会があれば参加したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	5	コロナのため行っていない。	現状コロナもあり、難しい。まずは、こぼんはうす同士(他教室)との交流を計画していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14	0	児発管、管理者が参加している。	会議の記録を取り、職員間で共有できるよう、保管、共有している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	送迎時、時間が足りない場合は後で児発管から電話している。	職員との連携が必要。終礼で職員、児発管で状況の共有をする。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11	3		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0	契約時児発管が行っている。	時間が経つと忘れてしまうこともあるので、また体制が変わった時など都度説明をする。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0	計画を示しながら自発管が行っている。	コロナ流行の時などZOOMや電話等を使って代用できるようにする。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	11	以前は食育についての勉強会を行い、好評だった。コロナのためできていない。	コロナの時から開催できていない。もう少し感染状況が落ち着いたら計画したい。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	0	こぼん便り、こぼん通信を発行している。	教室での様子がわかるよう、写真を入れたり工夫する。個人情報(写真)に注意する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	研修時に定期的に職員教育を行っている。	持ち帰り仕事が無いよう仕事内容を確認していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	絵での表示等の工夫。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	11	コロナのためできていない。	コロナ流行期は難しいが改善したら計画したい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0	マニュアル作成。定期的に訓練を行っている。	マニュアル作成後、定期的に点検、修正していただけるよう、訓練時にマニュアルの内容を確認する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	プログラムに組み入れている。	各曜日バランスよく訓練が入るよう確認しつつ計画していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	0	契約時に児発管が確認。	職員に確実に周知ができるよう、個人ファイルに記録を残している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	0	アレルギーミスの無いよう表示カードを作り、ダブルチェックを行っている。	おやつ準備時、提供時に確認。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	ファイリングし、職員で共有。ミーティング時に話し合う。	確認サイン欄を作り、共有の確認をしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	研修会を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	14	0	支援計画に記載、説明をしている。	職員間で共有できるよう日々のミーティング時にも確認する。